

会 議 録

作成:平成28年10月3日

会議名称	平成28年度 第3回 交野市子ども・子育て会議		
開催日時	平成28年10月3日(月) 午後2時00分～3時50分		
開催場所	交野市立保健福祉総合センター(ゆうゆうセンター)3階 展示活用室		
出席者	・委員 13人出席(欠席者2人)	・事務局9人	合計 22人
			傍聴者 2人
配付物	<ul style="list-style-type: none"> ・次 第 ・参考資料1 交野市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について ・参考資料2 計画の目標値等の進捗状況 ・参考資料3 平成27年度における施策の実施状況(継続・新規・拡充事業) ・参考資料4 平成27年度における施策の実施状況(新規・拡充・検討事業) 		
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 委員出席状況報告</p> <p>4. 議題</p> <p>(1)交野市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について</p> <p>事務局:国の基本指針、交野市子ども・子育て支援事業計画・点検評価の方法について、教育・保育施設及び地域型保育事業の進捗状況について、配布資料1、2に沿って説明</p> <p>会 長:何かご質問等ございませんか。</p> <p>委員A:評価方法「A」「B」「C」についてももう少しご説明ください。</p> <p>事務局:待機児童があるのになぜ「A」なのかというところですが、平成31年度までの5年間で1号～3号認定の全てについて待機児童をなくす計画でございます。途中年度は待機児童があっても、各認定区分毎に計画どおり5年後に待機児童が「0」になるのかならないかで評価をさせていただきます。</p> <p>委員B:5年間で待機児童をなくすとのことですが、入所希望の園を1つしか記入していない人や、条件が満たされていない人は待機児童に入っていないですね。</p> <p>事務局:その通りです。</p> <p>委員B:きょうだいで別々の園に入っている人もいると思うのですが。</p> <p>事務局:きょうだいで違う園に通っている方に関しては、2通りあります。</p>		

1つ目は、きょうだい違う園に通われていて「転園希望」を提出されている場合は、待機児童には含めておりません。

2つ目は、まだ入園していない人できょうだいの園に入りたいと思っている場合も、仕事があるのに預け先がないという事は一番困りますので、第一希望のきょうだい一緒の園に入りたいけれども、複数の保育所を記入していただき待機児童として数えております。

委員B:この表にかくれている待機児童は、他市に比べて少ないと解釈してよろしいですか。

事務局:待機児童の数え方については、市町村によって違っていたのですが、平成27年度以降は国から待機児童の数え方のついて定義が示されましたので、他の市町村と比較して頂いても差支えないと思います。

委員C:求職活動がしくて保育所入所希望をしている人に関しては、待機児童に含まれているのですか。

事務局:新制度以降は、待機児童として計上しております。

会 長:評価の基準について、5年を見通して評価をするということですが、どうやって5年の見通しをもっているのでしょうか。具体的な手段とは。見込みの数値も少し変わってきていると思うのですが。

事務局:5年間かけて待機児童を段階的に「0」にできるレベルになっているのかどうか、今のプロセスにおいて、このままいけば待機児童「0」にできるレベルなら評価は「A」。そうでなければ「B」、あるいは計画を下回っていれば「C」になります。

例をあげて説明いたしますと、資料2 P4 平成27年度の3号認定0歳は、評価「B」となっております。もともと平成27年度においては99人の見込みで95人分の保育を確保、4人分の不足でスタートしました。実際には111人分の保育の確保ができ、計画的には評価「A」になります。しかし、実際には118人のニーズがあったので7人の待機児童が出てしまいました。初めの見込みとの違いもあり、計画はクリアしているのですが、実際には待機児童が出ているので評価は「B」とさせていただきました。

会 長:保育の確保を増やしたという努力もよくわかります。
他にご質問はありますか。ないようでしたら続きの説明をお願いしたいと思います。

事務局:地域子ども・子育て支援事業(13事業)について配布資料2に沿って説明

会 長:ご質問、ご意見はございませんか？
かなりたくさん事業ですが、評価は「A」が多いのかなと思います。
ないようでしたら次の説明をお願いしたいと思います。

事務局:平成27年度における施策の実施状況について資料3、4に沿って説明

会 長:ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

委員 D:読書環境の充実について電算化が終わった学校に司書は全校配置になるのかどうか。

委員 E:14校全てに司書配置をすることはできないかなと思います。

委員 D:現状としては学校の先生が図書室の管理をできる状況ではないので、実際の作業ができる人がいない状況で学校はどう対応していくのか。

事務局:担当課に伝えさせていただきます。

会 長:今のご意見は、担当課に連絡して頂きたいと思います。

会 長:今、説明がありました交野市子ども・子育て支援事業の実績・評価については、事務局の案のとおりホームページなどを通じて公表することで皆様よろしいでしょうか。
異議がないという事で公表よろしくお願ひしたいと思ひます。

(2)その他

事務局:2点、ご報告をさせていただきます。

まず1点目は、前回8月の子ども・子育て会議で、ご案内させていただきました公立幼稚園の運営方法の見直しについて検討委員会を立ち上げ、進捗状況については子ども・子育て会議

の席で随時、報告させていただきますとお伝えしておりました。現在の進捗状況ですが、第一回目の会議が開催できておりません。今後、順次すすめてまいりますので、また次回の子育て会議で進捗をご報告させていただきます。

2点目は、待機児童の解消についてです。平成27年4月時点の待機児童数は29名でした。平成27年度中、民間保育所にご協力いただきまして定員を100名ほど増やしましたが、平成28年4月時点の待機児童数は47名となっております。市としても待機児童をなくし、子育て世帯を交野市に呼び込みたいと思っております。その対策といたしまして、小規模保育施設の事業者を公募したいと思っております。

現在、交野市内に小規模保育施設は3園あります。今後、定員6～19名、対象0、1、2歳児の小規模保育施設を2施設増やしたいと思っております。公募をしてたくさんの事業者さんに手を挙げて頂きたいという思いもありまして、スタート時の物品の補助など予算を提案し9月議会で議決いただきました。今後、10月中にも公募し、年度内には事業者を決めて来年4月の実施に向けてすすめていきたいと思っております。

会 長:公立幼稚園の運営方法の見直しについてと、小規模保育施設についての報告がありまし

た。
他にありませんか。
なければ、事務局から今後の予定等連絡事項がありましたらお願いします。

事務局:皆様、長時間ありがとうございました。

平成27年度の交野市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況につきましては、ホームページにて掲載させていただきます。次回の交野市子ども・子育て会議については、改めて調整をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

会 長:では、本日の案件は全て終了いたしました。

ご多用のところ、本日はお疲れさまでした。

これにて閉会とさせていただきます。

